

進学と情報保障について～生徒へのインタビュー～

専門学校に進学が決定した高等部3年生にインタビューを行いました。学校見学や受験での情報保障について、ぜひ参考にしてください。

高等部3年 松本さん（美容関係）、静間さん（服飾関係）



○専門学校を選んだ理由は何ですか？

松本さん：小学部の頃から美容師になりたいという夢があり、一般の美容専門学校に通って技術とコミュニケーションを磨きたいと思ったからです。

静間さん：日本の文化に興味を持ち、手に職を付けたいという思いで、専門学校への進学を決めました。

○受験ではどのような情報保障がありましたか？

松本さん：面接は1対1で受けました。話者の言葉を直接補聴器に届けてくれる補聴援助システム「ロジャー」を使用しました。それでも聞こえにくかった時は「もう一度言ってください。」と、お願いしました。

静間さん：大きな声で話してもらいました。聞き取れなかった部分はもう一度言ってもらいました。

○専門学校にはどのような情報保障がありますか？

松本さん：一番前の席に座り、ロジャーを使用する予定です。

静間さん：授業の前に資料をもらって内容を確認しながら、授業を受ける予定です。

○受験のためにどんな準備をしましたか？

松本さん：インターネットで専門学校の募集要項やカリキュラムについて調べました。学校の雰囲気を掴むためにオープンキャンパスに何回も参加しました。また、面接試験対策の練習を繰り返し行いました。

静間さん：専門学校には高校の成績を送らないといけなくて、少しでも良い成績になるように勉強をしました。また、漢字検定やビジネス検定を受け、基礎学力の向上やビジネススキルアップを目指しました。

○来年度以降、進学を控える後輩に対してアドバイスはありますか？

松本さん：私の場合は、大学や専門学校のカリキュラムを調べて自分のレベルに合った学校を選びました。私が選んだ専門学校のカリキュラムは、3年制のコースがあり、2年生で国家資格を取得し、3年生になると学内サロンで実践力を磨けるので、これなら私でも大丈夫かなと思いました。また、授業見学に行くことをお勧めします。実際に、学生が分からないところを先生に質問されている場面もあり、学生と先生の距離感や授業の雰囲気がよく分かりました。

静間さん：普段から授業を大切にし、分からないときは質問し、分からないままにしないようにしていました。これは、専門学校に進学したら尚更必要になってくると思います。特に聞き取りにくいときは、聞き直す勇気が必要です。分からないのに、分かったふりをすると後々困ります。周囲の協力も得ながら、より良い学生生活を送っていきたいです。

就職と情報保障について～生徒へのインタビュー～

就職が決定した高等部3年生にインタビューを行いました。就職に向けて職場見学や職場実習の情報保障について、ぜひ参考にしてください。

高等部3年 三浦さん（自動車関係）



○進路を決めた理由は何ですか？

・高等部2年と3年のとき、職場実習に行きました。そのときの職場の雰囲気が高く、仕事内容（部品を組み立てる作業）が自分に合ってるなと感じたからです。

○職場実習や面接で困ったことはありましたか？

・自分が行った職場実習先は優しい人がたくさんいて、コミュニケーション面では筆談をしてくれてすごく助かりました。

○就職に向けてどんな準備をしましたか。

・就職試験では、一般常識や科目（数学や国語）の筆記試験の他、面接や会社から出された課題などがありました。数学や国語は日頃から授業を真面目に受けて勉強しておいた方がいいです。また、会社からの課題の中には作文や適性検査がありました。社訓を何回も読み返しました。また、面接の練習は学校の先生にも手伝ってもらいました。

○来年度以降、就職を控える後輩に対してアドバイスはありますか？

・口話が難しいときは筆談が必要になってくるので、語彙を増やすことが大事であると感じました。
・分からないときは、はっきり「分かりません。」と伝えることです。
・笑顔が大事です。自分が笑顔しているとまわりの人気持ちよく仕事ができます。実際に職場の人から「こちら気持ちよくなるよ。」と、してもらいました。



補聴器に関する「よくある質問」



保護者や難聴学級の先生などからよく聞かれる質問です。



運動会の時にピストルの音がなったり、ダンスの曲が流れたり、大きい音を聞くことが多いです。補聴器は外した方がいいのでしょうか？

補聴器や人工内耳は、小さな音を大きくする役割の他、「大きすぎる音の出力は控えて、耳に悪い影響を与えないよう保護する役割」があります。元々大きすぎる音は、耳に届かないよう設定されていますので、「大きい音になるから」という理由で、補聴器を外す必要はありません。どうしてもお子様が「うるさい」と訴える場合は、ろう学校か補聴器業者へご相談ください。



補聴器に「防水機能」がついていますが、どのくらい水に濡れても大丈夫なのでしょう？

近年の補聴器には「防水機能」がついているものも多いですが、完全防水ではないため、やはり水に濡れると故障する可能性が高くなってしまいます。防水機能も経年劣化で衰えてきますので、汗をかいたら拭く、乾燥ケースで保管するなど、日常的なメンテナンスをお願いします。大量の水がかかった、ポケットに入れたまま洗濯してしまったなどがありましたら、音がなっていない、ろう学校か補聴器業者で補聴器の特性を調べてもらってください。

